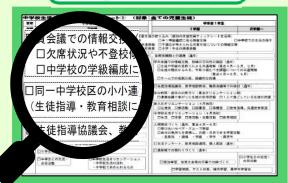
全職員で取り組もう!すべての子どもたちに魅力ある学校生活づくりを

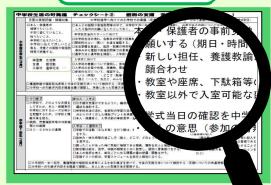
『中学校生活の好発進』チェックシート

小学校から中学校へのスムーズな移行を行うためのチェックシートです。小学校6年生時、中学校1年生時にそれぞれしておくことを網羅しています。小・中学校共通で使用できるシートです。

シート①(すべての児童生徒)



シート②(個別の支援)



このような場面でお使いください

<小学校>3学期~

中学校入学に向けての支援で 6年担任が、児童の中学校入学に向けて、これまでの生活習慣を見直したり中学校生活に関する情報を学級(学年)単位で児童と共有したりする。

教育相談部会や職員会議等で 関係職員で6年児童の情報共有と実態把握をし、中学校の学級編成 に係る資料作成の参考にしたり、小小連携や小中連携で検討する内容の検討を行ったりする。

小小連携・小中連携で 同一中学校区内の6年担任同士、あるいは6年担任と中学校の職員とで、 児童の情報や学習・生活のルール等を共通理解し、統一できるものは可能な限り統一しておく。

個人面談・二者面談等で 6年担任による不適応が考えられる児童や保護者との面談において、本 人の現状を把握したり、中学校入学に当たっての意思を確認したりする。

引継ぎ資料作成で 不適応が考えられる児童について、小学校での支援や本人・保護者の中学校へのニーズ、外部機関の活用状況等を把握する。

等を共通理解し、統一できるものは可能な限り統一しておく。

< 中学校 > 春休み ~ 1 学期、 2 学期 小中連携で 中学校の職員と同一中学校区内の6年担任とで、新入生の情報や学習・生活のルール

学年会等で 1年生の学年職員で生徒の情報共有と実態把握をし、各オリエンテーションの計画や 人間関係づくりに係る活動等の計画を検討する。

教育相談部会や職員会議等で 関係職員で生徒の情報共有と実態把握をし、中学校の学級編成に係 る資料作成の参考にしたり、指導の方向性の検討を行ったりする。

入学式前後の個別の支援に向けて 不適応が考えられる生徒・保護者に対して、入学前の学校見学 や入学式の参加の仕方等も含めた対応の検討及び情報共有を1年担任を中心に行う。

支援体制づくりに 不適応が考えられる生徒に対して、入学後の声掛けや見守り、保護者への連絡 等の支援体制を、1年担任を中心に養護教諭や教育相談担当を交えて整える。

中学校生活の好発進 チェックシート① (対象:全ての児童生徒)

学年	小学校6年生		中学校 1 年生	
学期	3学期		1 学期	2学期~
連携組織づくり	口小学6年生の情報交換と実態把握 口個人ファイル等の活用	理解	解 □不適応が考えられる児童生徒についての情報交換	中学校での生活の様子
	□スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、各関係機関との連携(通年)			
	職員会議での情報交換(通年) □欠席状況や不登校傾向の経験の有無の共通理解 □中学校の学級編成に係る資料作成 □同一中学校区の小小連携(通年)		学年会議での情報交換、指導の方向性の確認(通年) □生徒や学級の見取りによる共通理解(重点4月~ □生徒の現状からみる、今取り組むべき課題につい (重点4月~6月、 □チームでの役割分担、組織的な指導	ての共通理解
	(生徒指導・教育相談に係る情報交換等)			
	□生徒指導協議会、教育相談部会、職員会議等での検討(通年)		□生徒指導協議会、教育相談部会、職員会議等での検討(通年)	
新しい環境への適応力づくり中学校生活への不安解消	□中学校入学に向けての学習支援		休み時間・昼休みの見守り(重点オリエンテーション 口連携会議で挙がった生徒の状況把握 口1人で過	
			新入生オリエンテーション(4月当初) 口生徒会 口部活動 口図書室 口保健室 口安全	上道
	□中学校体験入学 		中学校生活オリエンテーション(4月当初) 口生活 口学習 口係活動・当番活動 口教育相談	11000000000000000000000000000000000000
	□コミュニケーション能力を高めるSST・SGE(特別活動) ・学級 ・学年 ・異学年		人間関係づくり(通年、重点4月~6月)□学び合いやペア・グループ学習	T
	□学級活動での学級集団づくり(通年)]	□自分の気持ちを表現し、共感・共有できる学習活 ・各教科 ・領域 ・学級 ・学年 ・異学年	動
	□学校生活アンケート、教育相談週間、個人面談(通年)		□生活アンケート、教育相談週間、個人面談(通年)	
	□小学生生活習慣チェック(通年)		□連絡帳での関わりづくり(通年)	
	□中学生との交流・ 合同活動 ・中学校生活オリエンテーション ・中学校生活の流れ ・中学校で求められるもの		口宿泊学習、体育大会等の行事での絆づくり	□小学生との交流・ 合同活動
			□学習相談、テスト対策、補充学習、異学	年学習会 「 「

児童の実態把握・情報収集 中学校准学へ向けての小学校での準備(卒業前~) 小中で連携した具体的な対応 (~入学式前日) □本人・保護者の □本人との面談や家庭訪問等の中で、中学校生活に向けての思い等を確認し、必要がある内容については中学校と情報共有 頑張りたいこと、 したり協力のお願いをしたりしておく。 不安に感じていること、 中学校生活のスタートに向けて 知りたいこと、 □中学校生活の流れ、各教科の学習や授業形態を確認する。 □本人・保護者の事前見学・面談を、中学校に 中学校に伝えたいこと、 中学校に伝えてほしいこと

□関係性のよい(悪い)友達を確認する。 小学校6年生(3月) お願いする(期日・時間帯・対応職員等の確認)。 等を、児童との面談や家庭訪ロ生活習慣を見直し、起床・就寝の時刻等の規則正しい生活の目標を立てる。 ・新しい担任、養護教諭、相談担当者等との 春休み中も電話や家庭訪問等での言葉掛けを行い、見守る。 顔合わせ 問等で把握する。 口通学方法と通学路を確認し、入学前に通学の練習をしておくように促す。 教室や座席、下駄箱等の位置の確認 ・教室以外で入室可能な部屋の確認 入学式に向けて 学習面 生活面 □入学式の意義について説明し、参加の有無を確認する。 友達 部活動 口入学式当日の確認を中学校でさせてもらう。 □入学式の日程や形態、準備物、服装等を確認する。 入学式 通学方法 … 本人の意思(参加の有無、参加の仕方)確認 □参加の仕方について、確認する。 動線の確認又は教室以外の控室等の確認 ・いつ (時間) ・どこで (教室で 体育館で 別室で) ・誰と(一人で、先生と、みんなで) · どのように □中学校での新担任や養護教諭、相談担当者等 口養護教諭や相談担当者等と今後の支援方法について検討する(支援についての共通理解)。 □中学校への引継ぎ内容を職員会議で確認し、児童に合った支援方法等を編成用の個票に整理する。 へ、小学校での支援方法を伝える。 小中引継ぎ 春休み~入学式 毎日行うこと □小学校で、どのような支援を□□引き続き支援ができるように、編成用の個票を基に6年担任を交えて学級 口健康観察で様子を見守る。気になることがあ してきたか、本人・保護者の 編成を検討する。 れば、保護者と連絡を取る。 中学校に対するニーズは何か「ロ中学校生活の流れ、各教科の学習の流れ、校舎内の教室配置等、具体的に □遅刻・欠席の確認をする。 を把握するため、小学校と情 分かりやすく示した補助プリントを準備しておく。 ・欠席1日 電話等で本人の声を聞く。 報共有を図る。 口本人・保護者と、入学式前の事前見学・面談、入学式当日の確認を行う。 ・欠席2日 電話又は家庭訪問をする。 中学校1年生(4月) □病院、児童相談所等の外部機 ・欠席3日 家庭訪問をして本人に会い、 関との連携 入学後~2週間ほど チームでの支援を検討する。 □SC・SSWとの連携 □学級での活動(SGE等)を行う際は、様子を見守り、その後に言葉掛け □課題提出状況の確認・調整をする。 □連絡帳の記入 口昼休み・休み時間の過ごし方(誰と、どこで、どのように過ごしているか) (週行事、時間割、提出物を丁寧に記入す ることで見通しをもたせ、自己管理できる を見守る。 口困ったことがあった時に気軽に相談できる職員、場所を本人と確認する。 ようにする。一日の様子を記入することで □部活動は紹介、見学、体験の期間を十分に設定し、個別に言葉掛けをする。 担任との情報共有、コミュニケーションを □本人の負担を考え、教科ごとに出る課題の量の把握・調整を行う。 行う) 口定期テストの前は、学習スケジュールを担任と個別に立てる。 □ 6 年担任・中 1 担任、養護教諭や相談担当者等による小中引継ぎを受けて、今後の支援方法について検討する(支援についての共通理解)。 □中学校への引継ぎ内容を全職員で確認し、本人に合った支援方法を整理する。